

世界トップレベルの剣道家から、その技と心を学ぼうと、県剣道連盟の主催による「世界一剣道教室」が、二月十一日に県立武道館で開催されました。

「世界一剣道教室」の開催は、一昨年の栄花直輝先生、昨年の村山千



世界一剣道教室開催

寺本選手の強さを学ぶ

平成二十二年二月十一日(木・祝) 於 県立武道館



第 67 号

発行人
福 井 県 剣 道 連 盟
理事長 市 橋 和 廣
事務局
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
榊マルツ電波二の宮店 付属舎
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

その一流の技を学び、また直接指導を受けられる機会とあって、今回対象となった中学生から大学生までの県内の剣士、指導者・保護者を合わせておよそ六〇〇名が参加。大いに盛り上がりました。

夏先生に続いて今回で三回目。今回の講師は、あの寺本将司先生（大阪府警第一機動隊）です。寺本先生は、昨年八月にブラジルで開かれた世界剣道選手権大会で団体・個人とも優勝したほか、平成十九年の全日本剣道選手権大会でも優勝している文字通り現在の日本を代表する選手で、その活躍はテレビ番組「情熱大陸」でも取り上げられるなど、剣道界以外からも大変注目されている先生です。

開会式には、広部教育長も来賓として出席。平成三十年に予定されている福井県での二順目国体に向けて、寺本選手から、一つでも技を吸収して、選手として活躍できるよう頑張っ

てほしいと激励しました。

寺本先生が登壇すると、大きな拍手が起ります。

十分ほどの講演では、寺本先生が剣道に向かう時の心構えなどが示されました。今の寺本先生からは信じられないことですが、中学時代は市レベルでベスト8程度、高校時代も県で優勝したのが一回あるかどうかという選手だったとのこと。

そういった中で、寺本先生は強豪揃いの大阪府警に入り、様々な努力の結果、世界一にまでなられたわけですが、大きく印象に残った言葉を二つ紹介します。

「人事を尽くして天命を待つ」

大阪府警はやったものだけが強くなる世界。しかし強い人も弱い人も通常の練習メニューは同じです。その中で弱い（決して先生は弱くないとは思いますが）自分がどうしたらよいか：「やれることはすべてやる」に尽きるのだそうです。特に、先生が心がけたことは「毎晩、欠かさず道場に通う」こと。そこで自分と向き合い、人よりも練習する。その結



果、試合に勝ったならば、それはやるべきことをやったから、負けたならばやるべきことをやらなかったからと自分を戒める。そうすれば「勝った後の奢り」も生まれません。MLBのイチロー選手との会話にも触れながら、「人事を尽くす」過程（プロセス）の大切さを話されました。

「意識を変える」

昨年の世界大会。前回大会で負けていた日本は、絶対勝たなくてはいけない立場にありました。その大将として臨んだ寺本先生。どうやったから勝てるのか。その一つの答えは

「意識を変える」だったそうです。前回負けたアメリカやライバル・韓国に勝つことを考えるのではなく、目の前の予選、一回戦に全力を尽くす。その一戦、その一本にかけること。今、目の前にいるのが真の相手です。

また、寺本先生は、世界大会の選手に選ばれる前から、絶対に選手として、世界大会で優勝するという高い目標を掲げていました。高い目標を掲げれば「意識が変わる」。そうすれば、行動が変わります。皆さんも、どんな目標でもいい。「次の福井国体に選手として出場する」「小さな大会で優勝する」。そのために意識を変えることが大事だと訴えました。

〈寺本先生への質問タイム〉

Q 稽古で心掛けていることは？
A 毎日少しずつ工夫することです。今日は、足を出してみよう、声を先に出してみようなど試行錯誤することが大事だと思います。
Q 毎晩の道場で考えることは？
A 続けること。苦しい時、やりたくないときも足を運んでいきます。皆さんも一日一本素振りを続けるよう心掛けてください。一本で素振りをやめられる剣道家はいませんから、続けければ相応の練習量になるでしょう。

Q スラップや調子が上がらない時は？
A スラップは強い人がなるもので、自分には関係ないと考えるようにしています。弱いから負けるだけだ。また、調子を出すために、足をつかって遠間から打ち込みをしたり、端から端まで追い込みをしたりします。

Q 大会までに心がけることは？
A 普段の生活を変えないことです。普段の練習を試合で出せるのが一番良いので、食事や素振りもいつもと同じようにやりまも断らないので、試合前日でも行きますよ(笑)

続いて行われた実技指導では、素振りから切り返し、面打ちなどの基本から、小手面などの連続技などを行いました。寺本流と言ってもいい独自の練習方法を実際の動作を交えてご教示いただきました。そのいくつかを紹介しましょう。

〈声〉
声で一本にするぐらいの気迫を！
まずは、「大きな声」を出すべし！
声のことは、教室の間、終始指摘されていました(常に気をつけよう)。
〈素振り〉
人より遅く上げて早く振り下ろす

練習をしてみよう。
〈切り返し〉
最後の面まで息を切らさないように。それが試合に生きてくる。息を切らした練習は「もったいない」。

大きく正確に(スピードは二の次)。
〈大きく面打ち〉
左足をちゃんと引き付けて打つ事(中学・高校になると省略してしまいがち)。
〈小手打ち〉
近いだけに手打ちになりやすいので、面と同じように踏み込むこと。また、練習で優しい小手打ちをしている人がいるが、それはダメ。相手が悲鳴を上げるぐらい強く打つ事で、試合でも決まる小手が打てる。



〈応じ技〉
相手を待たずに先に打て！
〈寺本流追い込み稽古〉
試合で追い込める足を作るため、道場や体育館の端から端までを小刻みに足を動かして(楽しないで)打ち込む。

先生は、「求める気持ちが強くなる秘訣」として、面を早く付けなさいといいました。これは一昨年の栄花先生がいつていたことと同じ事。今年度、全日本で優勝した内村選手も面を付けるのはものすごく早いそうです。
最後に、各校から代表して二名づつが寺本先生と直接剣を交えて稽古を行いました。一瞬も無駄にしないようにと一生懸命稽古する参加者の列が、終了前まで先生の前にずっと続いていました。

また、昼食時間中を利用しては、全員との記念撮影。参加者のあこがれの的とあって、先生は握手やサイン攻めにあっていました。
参加者からは、次のような感想も寄せられました。一人ひとりの意識の変化、技術面の到達に資する「世界一剣道教室」となったようでした。
○大野高校二年 大廣 貴志
「意識を変え目標を高く持つことが、



心身の成長につながる。自分も、同じような練習メニューでもその日その日で注意点を変えて、成長していききたい。」

○朝日中学校二年 前田 晃陽

「先生のように常に試合を意識して練習していききたい。また元立ちであつても気を抜かない練習をしていききたい。」

○丸岡中学校二年 遠藤 純

「今、自分にできる精一杯のことをすること、毎日を無駄に過ごさないことなど、強い人と自分の違いを感じた。今後の練習に活かしていきたい。」

○明倫中学校二年 西川 祥平

「試合をがんばる前に、それまでのプロセスをがんばることの大切さを学んだ。僕も、これから毎日の

練習をより大切にしていきたい。」

○松陵中学校二年 竹田 涼

「印象に残ったことが二つある。一つは練習量の多さ。二つ目は、「声」の大切さ。学んだことを生かして、これからもさらに精進していきたい。」

〈寺本将司先生 略歴〉

昭和五十年 熊本市生まれ。小学一年生から剣道を始める。国際武道大学卒業、現在、大阪府警察第一機動隊に所属。錬士六段。

○主な戦績

・全日本剣道選手権大会【個人戦】

平成十九年

第五十五回大会 優勝

平成二十一年

第五十七回大会 三位

・世界剣道選手権大会【団体戦】

平成十五年

第十二回英国大会 優勝

平成十八年

第十三回台湾大会 三位

平成二十一年

第十四回ブラジル大会優勝

・同【個人戦】

平成二十一年

第十四回ブラジル大会優勝

一年の計は初稽古にあり！

〈県剣道連盟 初稽古〉

平成二十二年一月十日(日) 於 県立武道館



また正月気分が抜け切らぬ一月十日、県立武道館で、福井県剣道連盟の初稽古が開催されました。県内の全域から、小学生から一般の方までおよそ二〇〇名が参加し、剣道と居合道に分かれて、気合の入った練習を行いながら、今年一年の精進を誓いました。

稽古に先立ち、湊八幡神社の柴崎宮司による神事が営まれました。これは、県剣道連盟初の試みです。集まった皆さん、それから剣道にかかわる皆様の健康と安全、県剣道連盟の今後ますますの発展を祈願して、

お払いや祝詞奏上が行われ、武道館内は厳粛な雰囲気になりました。

湊八幡神社は、朝倉氏ゆかりの戦いの神様を祭っているということで、剣の道を志す私たちにはゆかりがある神社とも言えそうです。柴崎宮司からは「争いはいけないことだが、競う心は大事。日本人の心の部分を大切にし、気を奮ってください。また神様や周りの人達に支えられているということを考えながら精進してください」とお話しいただきました。

また、市橋理事長をはじめ役員十名が代表して、玉串を奉納しました。相模副会長、市橋理事長のあいさつに続いて、剣道と居合道の公開演武が行われました。剣道は堀江教士七段と柳原教士七段による日本剣道形が、居合道は玉村居合道六段と酒田居合道五段による居合の形が披露されました。一年の初めにふさわしい凛とした素晴らしい演武でした。

演武の後は、剣道と居合道に分かれて、参加者による稽古です。剣道では、学生約一〇〇名、一般約八十名が一斉に準備運動と素振り



を行いました。大道場に元気の良い掛け声が響きます。

そのあとは高段の先生方が元にしたれての稽古会です。広い道場がせまく感じられるほど気迫のこもった稽古会になりました。

居合道では、まずは入念な準備運動で、自分の体の状態を確認します。基本稽古では、今年初めての稽古とあって、ついつい力が入りがちになります。玉村先生から「力を入れない」「大きく」「正しい姿勢でゆつくり」と声がかかります。

その上で、例えば「鞘引き」における「小指の絞め」や「腰を逃がさない」など、基本メニューでの具体的なアドバイスを受けながら、参加した十名は自分の動きをチェックし、

真摯に稽古に取り組んでいました。また、二人一組の稽古では、相向いで、足や手の返し、切っ先の高さなど、お互いの気付いたところを助言しあいました。およそ一時間の稽古で、参加者は寒さをものともせず、熱心に素振りや形の練習に打ち込んでいました。

初稽古を振り返って玉村先生は、「今年初めての稽古なので、やはり基本を振り返ることを念頭に、流れの中で悪いところや癖、修正点などを確認した。できている人も、もう少し練習が必要な人も、今日の稽古を材料として、それぞれ道場で稽古に取り組んでほしい。」と話していました。



試合結果

平成21年度 福井県高等学校 冬季剣道選手権大会

平成二十二年一月三十日 於 県立武道館

従来まで二月に勝ち抜き戦方式の団体戦が行われていた大会ですが、来年度より選抜大会予選会となるに伴い通常の総当たり方式による男女団体トーナメント戦に変更となりました。今年度大会は、そのプレ大会であるため、合同チームの参加が認められました。

なお、新入大会男子個人ベスト8による都道府県大会予選(トーナメント方式)も今後、本大会で実施される予定です。大会結果は、以下の通りです。

▽男子団体

- 一回戦
 - 科技 2-1 羽水
 - 高志 4-0 勝山
- 二回戦
 - 敦賀 5-0 科技
 - 美方 4-1 若狭
 - 武生 4-0 三国
 - 北陸 2-1 藤島
 - 丸岡 5-0 武東
 - 気比 4-0 春工

- 啓新 4-0 金津
- 高志 3-1 福井

- 三回戦
 - 美方 1-0 敦賀
 - 北陸 3-2 武生
 - 気比(代表勝) 1-1 丸岡
 - 高志(本数勝) 2-2 啓新

- 準決勝
 - 北陸 3-1 美方
 - 高志 2-0 気比

- 決勝
 - 北陸(代表勝) 1-1 高志

▽女子団体

- 一回戦
 - 福井 4-0 若狭・科技
 - 敦賀 2-1 金津・羽水・三国
 - 高志 3-0 武東・啓新
 - 北陸 2-1 気比
- 二回戦
 - 福井 2-1 丸岡
 - 敦賀 2-1 藤島
 - 武生 2-1 高志
 - 美方 2-1 北陸
- 準決勝
 - 敦賀 2-1 福井
 - 武生(代表勝) 2-2 美方
- 決勝
 - 武生 2-1 敦賀

▽都道府県大会予選 男子

・一回戦

矢部(高志) メー 渡辺(福井)

谷山(敦賀) 反ー 高倉(啓新)

刀祢(啓新) メメーメ 山田(武生)

久保田(気比) ドー 坂本(北陸)

・準決勝

矢部(高志) メドー 谷山(敦賀)

久保田(気比) メー 山田(武生)

・決勝

久保田(啓新) メドーコ 矢部(高志)

(都道府県大会出場選手)

久保田陽介(敦賀気比高校)

福井県中学校

冬季剣道強化錬成大会

平成二十二年一月三十日(土)

於 敦賀市総合運動公園

平成二十二年一月三十日(土)、敦賀市総合運動公園において、男子三十五校女子二十二校で福井県中学校冬季剣道強化錬成大会が行われました。

▽男子団体の部

・準々決勝

鯖江中 1ー1 藤島中

(代表勝ち)

三方中 2ー2 明倫中

(代表勝ち)

東陽中 2ー2 三国中

(代表勝ち)

松陵中 2ー0 春江中

鯖江中 1ー0 東陽中

三方中 4ー0 松陵中

・決勝

鯖江中 1ー1 三方中

(代表勝ち)



▽女子団体の部

・準々決勝

三方中 3ー0 森田中

清水中 2ー0 明道中

足羽一中 2ー1 丸岡中

中央中 3ー1 鯖江中

・準決勝

三方中 5ー0 足羽一中

清水中 3ー2 中央中

・決勝

三方中 4ー0 清水中



「第58回 全日本都道府県対抗 剣道優勝大会」福井県選考会結果

平成二十二年一月三十日(土)

三十一日(日)

於 福井県立武道館

一月三十日(土)・一月三十一日(日)の両日に福井県立武道館に於いて選考会が開催されました。

熱戦の結果、次の方々が優勝し選手に選ばれました。

・先鋒(高校生)

久保田陽介 選手(敦賀気比高等学校)

・次鋒(大学生)

金子 亮介 選手(中京大学)

・五将(一般三十五歳未満)

中村 好伸 選手(福井刑務所刑務官)

・中堅(教職員)

岩谷 治彦 選手(敦賀高校教諭)

・三将(警察官)

森本 邦彦 選手(県警機動隊)

・副将(一般三十五歳以上)

山本 英俊 選手(県スポーツ保健課主任)

・大将(五十歳以上七段教士以上)

西川 讓 選手(勝山南高校教頭)



これから四月二十九日の本大会での活躍を目指して稽古に励んでください。

平成21年度北信越 高等学校剣道新人大会

平成二十二年二月六日・七日
於 富山県砺波市庄川体育センター

今年度の北信越新人大会は、昨年十一月の新人大会の結果男子団体は敦賀・福井・丸岡・北陸が、女子団体は丸岡・美方・武生・藤島がそれぞれ出場しました。

男子団体において、県勢では北陸高校が決勝トーナメントに進出しましたが、接戦の末、惜しくも初戦敗退を喫しました。

大会結果は、以下の通りです。

▽男子団体予選リーグ

- ・Bブロック
高 朋(富山) 2-1 丸 岡
金沢泉丘(石川) 2-1 丸 岡
- ・Cブロック
福 井 3-1 富山東(富山)
- 新潟明訓(新潟) 4-0 福 井
- ・Fブロック
富山第一(富山) 3-1 敦 賀
高 田(新潟) 1-0 敦 賀
- ・Gブロック
北 陸 1-0 高岡工芸(富山)
- 北 陸 1-0 長野商業(長野)
- ・決勝トーナメント一回戦
新潟商業(新潟) 1-0 北 陸

▽女子団体予選リーグ

- ・Bブロック
佐久長聖(長野) 3-1 美 方
美 方 2-1 南砺総合福野
(富山)
- ・Dブロック
武 生 3-0 富山中部(富山)
- 新潟商業(新潟) 1-0 武 生
- ・Eブロック
丸 岡 4-1 砺 波(富山)
- 新潟中央(新潟) 3-0 丸 岡
- ・Hブロック
南砺総合福野 3-2 藤 島
(富山)
- 羽 咋(石川) 4-0 藤 島

▽男子大会結果

- 優 勝 新潟商業高校(新潟)
- 準優勝 新潟第一高校(新潟)
- 三 位 金沢桜丘高校(石川)
- 三 位 佐久長聖高校(長野)

▽女子大会結果

- 優 勝 新潟明訓高校(新潟)
- 準優勝 分水高校(新潟)
- 三 位 星稜高校(石川)
- 三 位 新潟商業高校(新潟)



第4回 福井県ジュニア育成 強化剣道大会結果

平成二十二年二月七日(日)
於 県立武道館

二月七日(日)県立武道館において、第四回福井県ジュニア育成強化剣道大会が開催されました。試合結果は、以下の通りです。

▽一年生

- 優 勝 中村 俊貴(吉川)
- 第二位 古河 諒真(立待)
- 第三位 岡田佳志彦(木田)
- 中村翔太郎(志士樹館)



▽二年生

- 優 勝 田崎 健斗(養正館)
- 第二位 増永悠希哉(木田)
- 第三位 梅田 隼仁(武道学園)
- 岡田 俊介(春江)

▽三年生

- 優 勝 橋本 恭佑(丸岡)
- 第二位 後藤真之介(木田)
- 第三位 角野 祥栄(栗野)
- 梶山 憲武(新風館)



▼4年生女子



▲4年生男子

- ▽4年生男子
- 優勝 上村 哲平 (志士樹館)
- 第二位 早川 惠理 (五常館)
- 第三位 中屋 和喜 (丸岡)
- 宮内 琉成 (志士樹館)
- ▽4年生女子
- 優勝 小辻 朋未 (武道館)
- 第二位 矢田 恭子 (敦賀市)
- 第三位 佐々木まどか (豊神館)
- 遠藤 真 (丸岡)

▼5年生女子



▲5年生男子

- ▽5年生男子
- 優勝 馬淵 稜也 (敦賀市)
- 第二位 刀称 隼人 (木田)
- 第三位 二本 将行 (鯖江)
- 道内 将誉 (福井東部)
- ▽5年生女子
- 優勝 八幡 明依 (武道館)
- 第二位 中山 知実 (木田)
- 第三位 西村 真由 (向笠)
- 山崎 愛華 (江守の里)

▼6年生女子



▲6年生男子

- ▽6年生男子
- 優勝 岡田悠貴彦 (福井東部)
- 第二位 中田 隆翔 (五常館)
- 第三位 志賀 涼 (みはま)
- 小荒 浩夢 (越前)
- ▽6年生女子
- 優勝 内山田 楓 (木田)
- 第二位 田崎樹理亜 (養正館)
- 第三位 水野 有美 (豊神館)
- 向野 一夏 (三国)

▽ベスト8

- ・一年生
- 山本 悠輔 (丸岡)
- 寺前 寛一 (木田)
- 中川 淳 (丸岡)
- 小角 愛寿 (三国)
- 志尾 陽章 (三国)
- 五十嵐拓哉 (福井東部)
- 高村 怜那 (福井少年)
- 高柴 泰志 (新風館)
- 山川 咲愛 (養正館)
- 北瀬 貴久 (越前少年)
- 川崎 叶也 (豊神館)
- 道勇 俊哉 (栗野)
- 前田 凱斗 (鯖江)
- 刀根 航介 (敦賀)
- 松永 浩明 (丸岡)
- 野坂 陸 (福井少年)
- 林 美咲 (栗野)
- 石水 心 (金津)
- 丹羽 杏菜 (木田)
- 加藤菜摘子 (吉川)
- 橋本 宗洋 (丸岡)
- 岡田 英介 (春江)
- 山田 雄太 (養正館)
- 田中 壮平 (鯖江)
- 小河 萌香 (養正館)
- 川島 楓奈 (五常館)
- 西前 晴奈 (三国)
- 五十嵐美月 (福井東部)
- 久保 瑛 (福井少年)
- 増永 大夢 (木田)
- 荒川 兼汰 (福井東部)
- ・二年生
- ・三年生
- ・四年生
- 男子
- 前田 凱斗 (鯖江)
- 刀根 航介 (敦賀)
- 松永 浩明 (丸岡)
- 野坂 陸 (福井少年)
- 林 美咲 (栗野)
- 石水 心 (金津)
- 丹羽 杏菜 (木田)
- 加藤菜摘子 (吉川)
- 橋本 宗洋 (丸岡)
- 岡田 英介 (春江)
- 山田 雄太 (養正館)
- 田中 壮平 (鯖江)
- 小河 萌香 (養正館)
- 川島 楓奈 (五常館)
- 西前 晴奈 (三国)
- 五十嵐美月 (福井東部)
- 久保 瑛 (福井少年)
- 増永 大夢 (木田)
- 荒川 兼汰 (福井東部)
- ・五年生
- 男子
- 馬淵 稜也 (敦賀市)
- 刀称 隼人 (木田)
- 二本 将行 (鯖江)
- 道内 将誉 (福井東部)
- 八幡 明依 (武道館)
- 中山 知実 (木田)
- 西村 真由 (向笠)
- 山崎 愛華 (江守の里)
- ・五年生
- 女子
- 小辻 朋未 (武道館)
- 矢田 恭子 (敦賀市)
- 佐々木まどか (豊神館)
- 遠藤 真 (丸岡)
- ・六年生
- 男子
- 岡田悠貴彦 (福井東部)
- 中田 隆翔 (五常館)
- 志賀 涼 (みはま)
- 小荒 浩夢 (越前)
- 内山田 楓 (木田)
- 田崎樹理亜 (養正館)
- 水野 有美 (豊神館)
- 向野 一夏 (三国)
- ・六年生
- 女子
- 内山田 楓 (木田)
- 田崎樹理亜 (養正館)
- 水野 有美 (豊神館)
- 向野 一夏 (三国)



また、開会に先立ち、伝達表彰式が行われ、二名の方が受賞の榮譽を得られました。
おめでとございました。

(財)全日本剣道連盟
少年剣道教育奨励賞

丸岡剣道スポーツ少年団
代表者 坂田 豊嗣

志比剣道スポーツ少年団
代表者 木村 嘉明

・六年生 今井 直人(きらやま)
女子 向出 晶子(荇原)
貢菜 菜実(今庄)
笠嶋 咲綺(江守の里)
青池 真優(きらやま)

**第25回 北陸三県
少年剣道錬成大会**

平成二十二年二月二十一日(日)
於 福井県立武道館

標記の大会が、県内外より小学生一〇〇チーム、中学校三〇チーム、三五〇名の参加を得て開催されました。本県より出場した次の四チームが入賞されました。健闘を称えます。

▽小学生低学年の部
優良賞(第三位)

敦賀市剣道スポーツ少年団A



▽小学生高学年の部
優秀賞(第二位)

敦賀市剣道スポーツ少年団A



優良賞(第三位)

木田剣道スポーツ少年団A



▽中学生の部
優秀賞(第二位)

鯖江志士樹館道場A



第32回 日本剣道少年団研修会

平成二十二年二月二十八日(日)
於 日本武道館

二月二十八日に開催された、全日本剣道道場連盟主催の第三十二回日本剣道少年団研修会において、敦賀市剣道スポーツ少年団の山川健翔さんが剣道の体験について発表し、第三位に入賞しました。山川さんは県内選考会に続き中部ブロック予選会

でも最優秀に選ばれ、全国九プロックの代表が集う研修会で堂々と発表し、見事にこの栄冠を勝ち得ました。本番までには、県内の大会などでリハーサルを行い、感情をこめてスピートできるような度も練習を重ねてきました。本人は「日本一を目指していたから、三位には悔しさもある」とも話していましたが「今度は剣道の全国大会で、日本一を目指したい」と意気込んでいました。

日本武道館に立つて

敦賀市剣道スポーツ少年団
栗野小学校五年

山 川 健 翔

今年の夏は僕にとっていい夏になりました。福井県の代表として、全国大会に出場することができたからです。

出場が決まった日から、日本武道館で試合ができることを楽しみに毎日稽古をしてきました。七月に入ると、初めての稽古に愛知県まで行きました。試合稽古をしてもなかなか思い通りにいかず、勝てませんでした。先生にもしかられっぱなし。これでは日本武道館に行ってもだめだと、しずんだ気持ちで愛知県から帰ってきました。

「どうしたら勝てるのだろう」



「強くなれるのだろう」

と考えました。僕は月、水、金、土と週四回稽古をしています。強い子と変わらないぐらい稽古をしているのに、どうして上手にならないんだろう。もっと強くなりたい、試合に勝ちたいと、気持ちばかりがあせっていました。先生におこられても必死にがんばりました。お父さんお母さんも、一生けんめい応援してくれます。みんな僕が強くなるようにと、思ってくれているのは分かるけど、できないことはできないと思つたこととは何回もありました。夏の暑さや、勝てないことでおこられるブレッシャーから、気持ち悪くなり稽古中でも吐いてしまうようになりました。何回も何回も吐いてしまいます。ご飯は

ちゃんと食べるのに、剣道に行くと吐いてしまう。今年初めてそうになりました。お母さんはすごく心配していました。でも、僕は剣道をやめたいと思つたことはありません。稽古がある日は休まず武道館に行きました。強くなりたいからです。

僕は、五年生だけ身長が低くて五年生にはとても見えませんが、小さい子には小さい子の剣道がある。面がだめなら小手、胴で勝負できる。とにかく足を使つて大きな子にはできない動きをしろと言われます。そんな剣道ができるようになります。そう思います。前は、声も小さかったけど、先生に声をだすことから注意され、今では大きな声がだせるようになりました。声を出すと気合も入ります。

いよいよ日本武道館に行く日になりました。お父さん、お母さん、妹も応援に来てくれました。前日に着いたので、先生とお母さんたちとチーム五人でご飯を食べ、いろいろな話をし、楽しい時間を過ごしました。大会当日になり、日本武道館に着いた時、日本武道館は大きく、広く、とても感動しました。日本全国から、たくさんチームが来ていていっぱいになっていました。今からここで試合をすると思つと緊張しましたが、

楽しみになってきました。開会式が終わり、自分の試合が近づいた時、この日も吐いてしまいました。でも大丈夫。先生もついていきます。声をかけてくれます。

整列し、「お願いします」大将の「ファイト」の声がかかりました。気合十分です。先鋒が勝つてきました。次鋒です、僕の番です。先に一本とりました。長い二分間で、まだ終わりません。一本取り返されませんでした。時間がきてしまい、僕は勝つていた一本を守ることが出来ず、引き分けになってしまいました。とてもくやしかったです。チームは代表戦までいきましたが負けてしまいました。東京まで来て一試合しかできないのは悲しかったです。

こうして、僕の初めての日本武道館は終わりました。日本武道館に立つた経験をいかし、強くなつて、また来年もここで戦い、今度は必ず「勝つ」とそう誓いました。日本一を目指します。

敦賀に戻つて毎日稽古です。たくさん先生の先生が教えてくれます。いろんな技を使い、勝つようになって、小さい僕が大きく見えるようになります。

そして来年、僕はまた日本武道館に立っています。

みんなの広場

剣道部・ クラブ紹介

福井地区剣道連盟

昭和二十七年連合軍による剣道禁止が解除されたのを機に、昭和二十八年一月当地剣道愛好家により、当剣道連盟が創立された。当初は少年と一般に別れて稽古を行っていた。少年の部は、福井警察署の道場を借用し、一般の人は、福井県織物検査場を夜間借用し稽古を行い、徐々に剣道人口が増加していった。

福井国体の招致決定を受け、昭和四十一年に福井市宝永三丁目に三階建（一階相撲場、二階柔道場、三階剣道場）の福井県立武道館が建設された。活動拠点も同武道館に移転し稽古を続けることになる。昭和六十三年には、社会を明るくする運動の協力団体として、法務大臣より感謝状を賜っている。

平成元年に福井市三ツ屋町に現県立武道館が建設されたのに伴い、旧武道館は取り壊しとなり、稽古場所は新武道館に移り、現在に至っている。

〈主な行事〉

- ・ 定例稽古会
毎週火曜日・木曜日・土曜日（県剣道連盟と合同稽古会）
- ・ 寒稽古（一月初旬～中旬）
- ・ 剣道級位審査会 年間四回
- ・ 剣道少年剣道級位審査会 年間二回（一回目九月、二回目三月）
- ・ 福井市民体育大会剣道競技の部（中学生、高校生が対象）
- ・ 社会を明るくする運動の一環として福井市保護司会と連携して実施
- ・ 福井地区少年剣道錬成大会 十月（福井市、永平寺町の少年剣道団体）
- ・ 福井市剣道選手権大会 三月（小学生、中学生、高校生が対象）

〈役員〉

会長	相模利朗
副会長	岡田盛
理事長	鈴木周一
副理事長	河越純二
副理事長	柳原潤一郎
事務局長	松井喜代治

福井大学剣道部

福井大学剣道部は、現在男子二十四人、女子二人で、荒木先生のご指導の下日々稽古に励んでいます。活動の最大の目的は「人間形成」です。もちろん試合で勝つことも望んではいますが、日々の稽古や試合を経験し、たくさんの人々と接する中で勉強をさせて頂くことで、社会に通用する立派な大人になることを目指しています。

稽古は週四回行っています。就職活動や授業の関係で稽古に参加できない。



ない部員も多く、なかなか大勢で稽古できない日が多いのが現状です。しかし、人数は決して多くなくとも、集まった人数で毎回集中して充実した稽古をしています。また、学生だけで稽古をする日が多いため、部員同士が活発に意見を出し合っており稽古内容を考えたり、互いにアドバイスをしたりしています。主な稽古の内容としては、素振り・基本稽古・打ち込み・地稽古で、基本を中心としたメニューになっています。試合が近づくと試合稽古を取り入れたり、普段はオフとなっている水曜日や土曜日にも練習を行ったりして、選手の手モチベーションを上げ、試合で十分力が発揮できるよう努力しています。

本学剣道部には県外出身の学生が多く、また、剣道のスタイルも十人十色、非常に様々であるので、毎回の稽古を楽しみながら行うことが出来ています。最初は何処かきこちな間柄ではありますが、五月の学祭、八月の合宿、数々の大会を皆で乗り越えていくことで、互いに打ち解けあい、何でも言い合って、切磋琢磨していける仲間になることが出来ています。これからも自分たちのペースではありますが、部員一同団結して日々精進して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

顧問 荒木 睦大
 主将 井上 裕太
 主務 奥山 登
 会計 河村 幸広

〈活動場所〉

福井大学文京キャンパス
 第二体育館 一階 剣道場

〈活動日時〉

月・火・木・金曜
 午後六時～午後七時半

〈年間行事〉

五月 北信越学生剣道選手権大会
 六月 北陸地区国立大学体育大会
 八月 合宿
 九月 北信越学生剣道優勝大会
 十一月 北信越学生剣道新人大会
 (奥山 登 記)

春江少年剣道教室

春江地区剣道連盟会長

宮川 透

稽古場所 春江B&G海洋センター
 稽古日 毎週 火・木曜日

「少年の部」

午後七時～八時三十分

「中・高・一般の部」

午後八時三十分～九時三十分

指導者 宮川 透・佐藤 憲造

北出 都芳・小寺みゆき
 岡田 恵子

春江少年剣道教室は、昭和四十六

年、当時の春江町剣道連盟会長、故中嶋憲次氏を中心となって、後継者を育成しようと発足しました。設立当時、少年剣士だった人たちが、現在、子供の指導にあたっています。

「今日やっていることがすぐ、結果に結びつかなくとも、いつか実のなることを信じて頑張る子供になっ
 てほしい。」という宮川透先生の指導の下、基本稽古を中心に頑張っています。又、月一回、教室内でト



ナメント試合を行い、それぞれ目標をもって試合に臨んでいます。剣道の楽しさを子供達に伝えられるよう、今後も指導者が稽古に励んでいきたいと思っています。

大虫剣道スポーツ少年団

大虫剣道スポーツ少年団は、昭和四十一年頃に旧武生市大虫小学校の先生や父兄の間で子供達に剣道を教えようという動きがきっかけとなり、昭和四十七年正式に発足し、永坂重几先生を中心に、多くの先生方が指導され活動してきました。現在は小学二年生から六年生までの団員十五名、指導者四名及び保護者の協力を得て、大虫小学校の体育館をお借りして毎週日曜日八時から十時まで活動しています。

初心者が多く稽古時間が少ないこともあり、基本を中心に繰り返し練習し正しい剣道を身につけることを目指して稽古しています。しかし子供たちの大半はまだ面や胴が自分でしっかり付けられず防具を家へ持って帰り練習し、四苦八苦しながらも頑張っている稽古しています。

また子供たちには剣道を通して礼儀正しくすること、大きな声を出し元気が良いこと、自分で理解し考えることを大切にするよう指導してい



ます。このことにより今後の人生において剣道の経験が少しでも役に立ち立派な人間になることを願って指導しています。

指導者 大嶋 雅典・民谷 秀夫

中川 潔・中山新太郎

保護者会代表

笹木 俊和

(大嶋 雅典 記)

高浜少年剣友会

高浜少年剣友会は、昭和五十三年四月に「高浜少年剣道教室」として



スタートし、平成三年四月に名称を「高浜少年剣友会」に改め結成三十一年が経ちました。

高浜町内外の小学一年生から中学三年生を対象に活動しています。現在の指導者は、猿渡和義氏、葎谷一照氏、鱒目貴史氏、入江彰伸氏、竹林照善氏、笠原泉氏、等が中心になって指導に力を注いでいます。団旗には「守破離」を掲げています。

当会は毎週水曜日、土曜日を練習日とし、B&G体育館にて、午後六時三十分～九時まで稽古を行っています。

活動としては通常の稽古の他に強

化合宿、県内外の剣道教室との合同練習も行っています。また、会員、指導者、保護者とバーベキュー、海水浴なども行っています。

さらにスポーツ少年団主催の大会、体力測定、レクリエーションなどにも参加し、六月には兵庫県下、京都府下、嶺南地区の少年剣士が集い「北近畿少年剣道大会」並びに、「小堀杯争奪剣道大会」(一般女子個人戦)を開催しています。

剣道を通じて挨拶、正しい礼儀作法を身につけ、仲間と共に励ましい刺激しあいながら、今後も稽古に励んでいきたいと思っておりますが、現在の会員数小学生一〇名、中学生六名と少人数でなかなか増えないのが今の現状です。

少しでも剣道に触れてもらうためにも、会員増加のためにも体験教室を開催したり町内の小・中学校に募集要項を配布しています。

〈剣道連盟役員〉

会長 猿渡 和義
副会長 渡邊 久暢
理事長 入江 彰伸
事務局長 竹林 照善

〈事務局住所〉
福井県大飯郡高浜町

東三松六―十二―一
FAX 〇七七〇―七二一―六一七三

三国中学校剣道部



三国中学校剣道部は、三月現在で男子九名、女子五名で活動しています。少年剣道出身者がほとんどなので、中学二年で初段、中学三年で二段取得を目標に練習に励んでいます。

練習時間は、四月～十月は十六時三十分～十八時三十分、十一月～三月は十六時五十分～十七時四十五分です。練習内容は、基本、応じ技、互角稽古、打ち込み稽古とオーソドックスですが、現在は足の運びを鍛えるために、道場の縦を使った連続技に時間をかけています。また、毎月

第三木曜日の三国町稽古会と、毎月一回、日曜日に開催される坂井地区練成会にはできる限り参加し、多くの先生方の指導を受けています。その成果を、福井地区中体連の先生方が月一回のペースで主催する練習試合に参加し、確認しています。

多くの剣道に関わる人との出会いが剣道上達の秘訣だと考えています。講習会や練成会を行うことがあれば、一声かけてください。よろしくお願ひします。(市村 直哉 記)

東陽中学校剣道部

東陽中学校剣道部は、昭和五十三年の東陽中学校開校と同時に創部されました。当初は、設備等も整っておらず、体育館のステージで稽古していたと聞いています。

平成二年に、待望の武道館が完成し、『成蹊館』と名付けられました。『成蹊』とは、東陽中学校の建学の精神で、蹊を成す↓すなわち道ができるという意味です。立派な人のもとにはたくさんの方が通ってきて、その後ろには道ができるということ

です。

現在の部員数は男子十二名。これまでの先輩方が切り拓いてこられた道を守り、さらに発展させようと、明るく元気に日々の稽古に励んでいます。



ときも『闘志』の強い気持ちを忘れず、目標達成に向けてチーム一丸となって頑張つていきたいと思つていきます。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

(青木 礼史 記)

ます。目標は県大会優勝。北信越大会、全国大会出場です。

写真の『闘志』は、昨年退職された十三代校長山本正一先生からいただいたものです。どんな



三国高等学校剣道部

三国高等学校剣道部は現在、男子四名、女子二名の計六名で活動しています。地元三国町や坂井地区の剣道連盟の先生方に支えて頂きながら日々、精神力・技術力の向上に努めています。部員の数はいませんが、その分一人ひとりが大きな声を出し、「稽古は試合の如く、試合は稽古の如く」、を心懸け、毎日の稽古に一生懸命取り組んでいます。稽古では切り返しと追い込み、打ち込みを大切にし、スピードとパワーを身につけることができるよう努力を重ねて



います。

さて、武旗にもなっている本校剣道部の精神は「錬磨」であり、深く精神・技術を磨くことを目標としています。技術的なことばかりでなく、剣道で最も重要とされる礼儀を体得できるように、己に厳しく、人に感謝できる人間になることを目指し稽古に励んでいます。

最後になりますが、これからも自分達を支えて下さる方々への感謝の気持ちをお忘れず、精進を重ねていきたいと思つたので温かいご指導をよろしくお願い致します。

羽水高等学校剣道部

本校剣道部は男子五名、女子一名の計六名、平日放課後十七時〜十八時三十分、土曜日九時〜十一時、本校武道館で活動しています。生徒に聞きました。

① 剣道をしていて楽しいこと(とき)は？

練習してきた技が試合できれいになりましたとき、きつい練習をして思いつきり汗をかくこと、他校の生徒とも仲良くなれること、強い相手との稽古、指導者・先生方と稽古、自分なりに考えて試合運びができたとき、相手とのやりとりの中で自分が攻め勝つて一本が

とれたときの達成感

② 剣道していてつらいこと(苦しいこと)は？

相手に技を外されてそこが痛くてしびれて動かないとき、夏暑い、冬寒い、足痛い、自分のダメなところが分かっていのに実際できないこと、自分のメンタル面の弱さ、技を一本に決めること(の難しさ)、声を出し、真つ直ぐな姿勢で技を打っていくこと(の難しさ)

③ 剣道から学ぶことは？

礼儀作法、平常心でいること、メンタル面の重要性、観察力、考えながら行動すること、物事に向



かう姿勢、応援の力の強さ、仲間
の大切さ、先輩としてしている意義、
継続は力なり

④ 剣道をする際に心がけているこ
とは？

気剣体の一致、一本一本を大切
にすること、体力の向上、向上心
を持ち続けること、弱点の克服、
相手に失礼のないよう敬意を払う
こと、相手のいい点を学ぶこと、
どんなに強い相手とやるときも強
い気持ちをもって戦うこと、相手
とのやりとりを楽しむこと、礼儀
作法をしつかりすること

生徒の答えに、改めて剣道が「稽
古を続けることによって心身を鍛練
し、人間形成を目指す道」であるこ
とを教えられました。現代の高校生
に求められる気質、「努力、忍耐、
集中力、決断力、自主性、責任感、
協調性、相手を尊重し礼儀を尊ぶ態
度」が剣道を通して身につくのだと
感じられました。これから一層精進
を重ねてまいりたいと思います。ど
うぞご指導を賜りますようお願い申
し上げます。

顧問教諭 中山 真
田野 裕之

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十二年二月十四日(日)

越前市武道館

「初段」 三十六名

- 小谷 裕太(高浜中)
- 佐野 泰斗(坂井中)
- 三井 翔太(大東中)
- 奥城 健太郎(小浜中)
- 磯引 健太(小浜中)
- 斎藤 拓泰(武生第六中)
- 萩澤 毅俊(永平寺中)
- 見谷 眺(大東中)
- 中山 翼(気比中)
- 金澤 岳(足羽第一中)
- 林 泰紀(気比中)
- 前田 晃陽(朝日中)
- 安久 克哉(足羽第一中)
- 永坂 卓也(武生第二中)
- 浅沼 秀俊(小浜第二中)
- 川畑 拳吾(武生第二中)
- 井川 崇志(芦原中)
- 松浦 雄飛(高浜中)
- 新井 喜仁(福井中)
- 竹本 勇亮(小浜中)
- 小椋 翔悟(鯖江中)
- 竹澤 和能(大東中)
- 福原 健太(藤島中)
- 佐藤 文哉(小浜中)
- 斉藤 諒太(芦原中)

「貳段」 十九名

- 仲保 雄一(警察官)
- 森川 智菜珠(森田中)
- 穴田 麻日那(芦原中)
- 三木 歌織(森田中)
- 中森 さつき(芦原中)
- 新保 華那(森田中)
- 木村 日和(角鹿中)
- 高嶋 夏妃(中央中)
- 長谷川 ゆりの(森田中)
- 笠原 由貴(朝日中)
- 松島 菜々子(松岡中)
- 市野 諒丞(三方中)
- 末本 和也(鯖江中)
- 中西 幹(三方中)
- 西野 光流(朝日中)
- 大野 真央(三方中)
- 中村 圭佑(三方中)
- 堀口 泰士郎(金津高)
- 平田 駿(金津高)
- 正木 啓敬(若狭地区)
- 山下 博士(越前地区)
- 高原 誠(福農高)
- 佐野 信秀(北陸高)
- 毛利 育未(足羽第一中)
- 北出 有紗美(啓新高)
- 小嶋 華(三国高)
- 中嶋 裕美(高志高)
- 永見 摩耶(啓新高)
- 佐々木 志歩(高志高)
- 吉田 久代(越前地区)

「参段」 九名

- 大橋 智仁(高志高)
- 山崎 由樹(啓新高)
- 森川 竜磨(敦賀高)
- 山岸 真也(鯖江地区)
- 前田 将崇(敦賀気比高)
- 打良木 智也(福井大学)
- 鳥山 武俊(大野地区)
- 内倉 志穂(丸岡高)
- 五十嵐 美妃(立命館大)

「四段」 二名

- 三井 清喜(福井地区)
- 山本 晋也(越前地区)



ペンリレー

女性剣士の部屋



山田 聖子

現在、育児休暇中の私ですが、さすがに三歳と九ヶ月の子供がいると、なかなか稽古ができない日々が続いています。結婚するまでは、五歳から始めた剣道をバリバリやっていたせいか、体を動かさない日々が続くと、体がムズムズ、頭がモヤモヤ…。そんな中、たまにできる稽古が楽しい!! (体は動かないが…笑) 毎日やっているとなかなか味わえない感覚を、今味わっています。

私が福井に来てもうすぐ五年。全く知らない場所、まずは稽古するところを探しました。稽古場では知らない人とでもすぐに会話が弾みます。いろいろな人と会話をすることができ、稽古は唯一孤独から抜け出せた時間でもありました。今まで試合の勝ち負けばかりを気にしたり、期待されたりしていました。福井に来た事によって、勝ち負けだけじゃない人とのつながりの大切さを教わったように思います。

これから、試合もあり、毎日稽古に励む中で、悩んだり稽古をやりたくないときも多くなるかもしれないかもしれません。でも、こういったことができることへの喜び、感謝の気持ちを忘れないように、これからも頑張っていきたいと思えます。

私の夢は娘と一緒に国体に出ること☆
それまで現役でがんばります!!

平成22年5月～7月 事業計画

期 日	曜日	事 業 名	場 所	開 催 者	備 考
5 / 1～2	土～日	剣道 八段審査会	京都市	全剣連	午前9:00から
2～5	日～水	第106回全日本剣道演武大会	京都市	全剣連	
3	月	居合 八段審査会	京都市	全剣連	
3	月	居合 称号(範士・教士・錬士)審査会	京都市	全剣連	
6	木	剣道 称号(範士・教士・錬士)審査会	京都市	全剣連	
8	土	常任理事会(Am10:00)・審議員会(Pm13:00)	県武道館	県剣連	
9	日	剣道段位審査会	県武道館	県剣連	
15	土	剣道 七段審査会	名古屋	全剣連	
15～16	土～日	第15回女子審判講習会	東京都	全剣連	
16	日	剣道 六段審査会	名古屋	全剣連	
16	日	剣道指導者講習会・合同稽古会	県武道館	県剣連	午前9:00から
19～23	水～日	第48回中堅剣士講習会	奈良市	全剣連	
23	日	理事会・評議員会	福井市	県剣連	
30	日	国体最終選考会	県武道館	県剣連	午前9:00(半日)多種目
6 / 4～6	金～日	県高校春季総体	県武道館	県高体連	午後13:00(半日)
13	日	第2回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	県武道館	県剣連	
13	日	県予選会・合同稽古会			
19～20	土～日	県中学校剣道強化錬成大会	若狭町	県中体連	午前10:00から
25	金	北信越高校剣道大会	富山県	北信越高体連	
26～27	土～日	居合 六・七段審査会	群馬県	全剣連	
27	日	居合 地区講習会	群馬県	全剣連	
27	日	福井県知事杯・福井県剣道選手権大会	小浜市	県剣連	
7 / 4	日	剣道形講習会	敦賀市	県剣連	午前9:00から
9	金	居合 六・七段審査会	兵庫県	全剣連	
17	土	第2回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都	全剣連	
19	月(祝日)	第44回少年剣道錬成大会	県武道館	県剣連	
24～25	土～日	県中体連夏季総体	県武道館	県中体連	
24～25	土～日	平成22年度全日本少年武道錬成大会	東京都	全剣連共催	
31	土	県民スポーツ祭(高校)	県武道館	県剣連共催	午前8:00から

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616

福井地区剣道連盟

会長 相模 利朗

副会長 岡田 盛

理事長 鈴木 周一

副理事長 河越 纯二

副理事長 柳原 润一郎

事務局長 松井 喜代治